

### 3 - 2 信越地域の地震活動 (1982年10月～1983年3月)

Seismic Activity in the Shin-etsu District (October, 1982 - March, 1983)

東京大学地震研究所

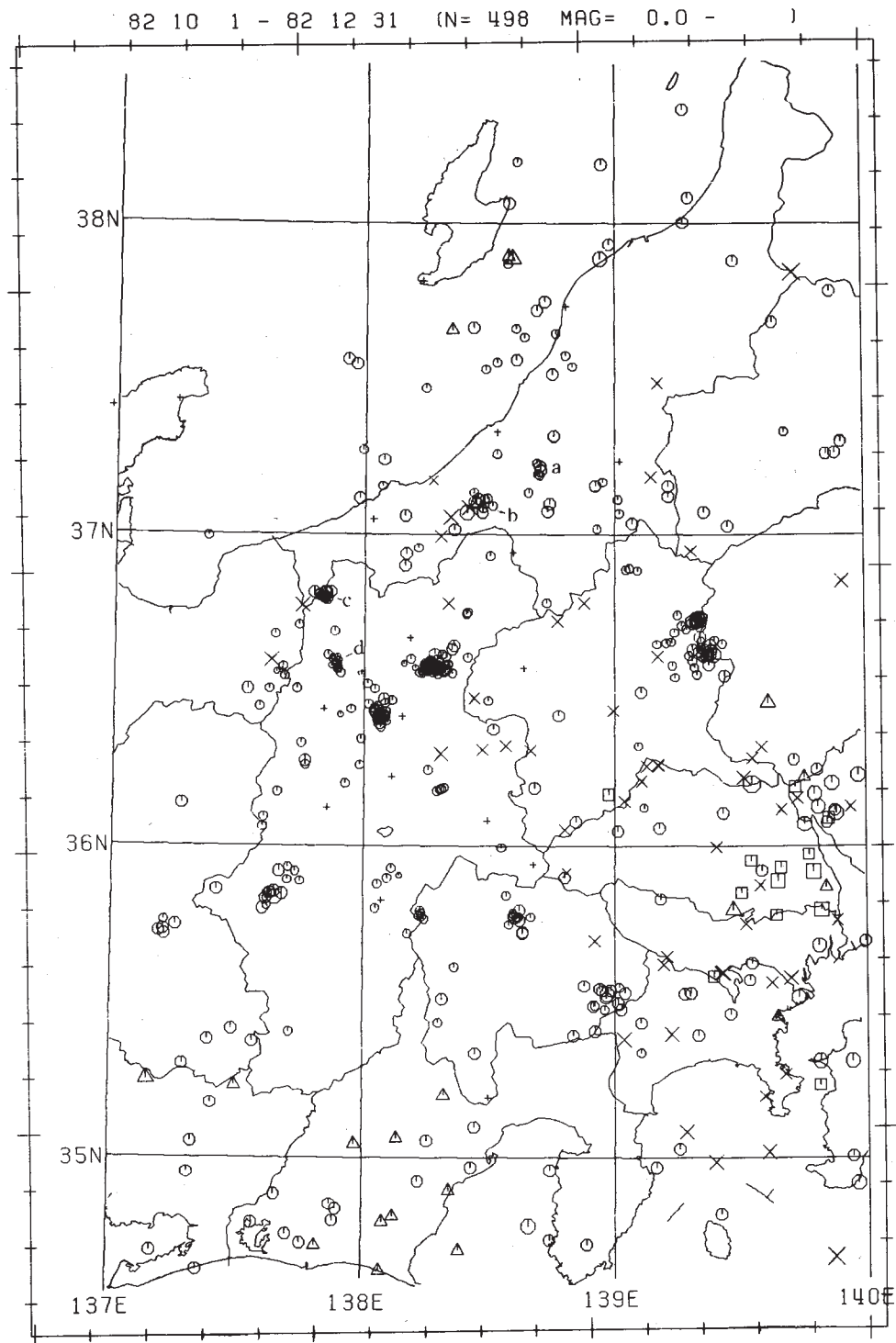
北信微小地震・地殻変動観測所

Hokushin Observatory of Microearthquakes and Crustal Deformation  
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

第1図は、1982年10月～12月の震央分布図である。この期間には、松代群発地震地域と王滝村の群発地震活動が続いている他、新潟県南部から長野県北西部にかけてM2～3程度を最大地震とする小規模な群発地震活動が4箇所で見られた（a：12月25日～31日、b：10月22日～23日、c：10月2日～8日、d：12月21日～24日）。

第2図は、1983年1月～3月の震央分布図である。この期間では、新潟県沖の活動が目立った。即ち、3月23日11時36分に佐渡北東沖でM4.1 ( $M_{JMA}$  3.7)の地震があり、翌24日06時54分に直江津沖でM4.2 ( $M_{JMA}$  4.3)の地震があった。続いて3月27日12時33分に再び佐渡北東沖でM4.2 ( $M_{JMA}$  4.4)の地震があった。しかし、これらの地震に関連する微小地震活動は第2図でわかるようにあまり顕著ではなかった。

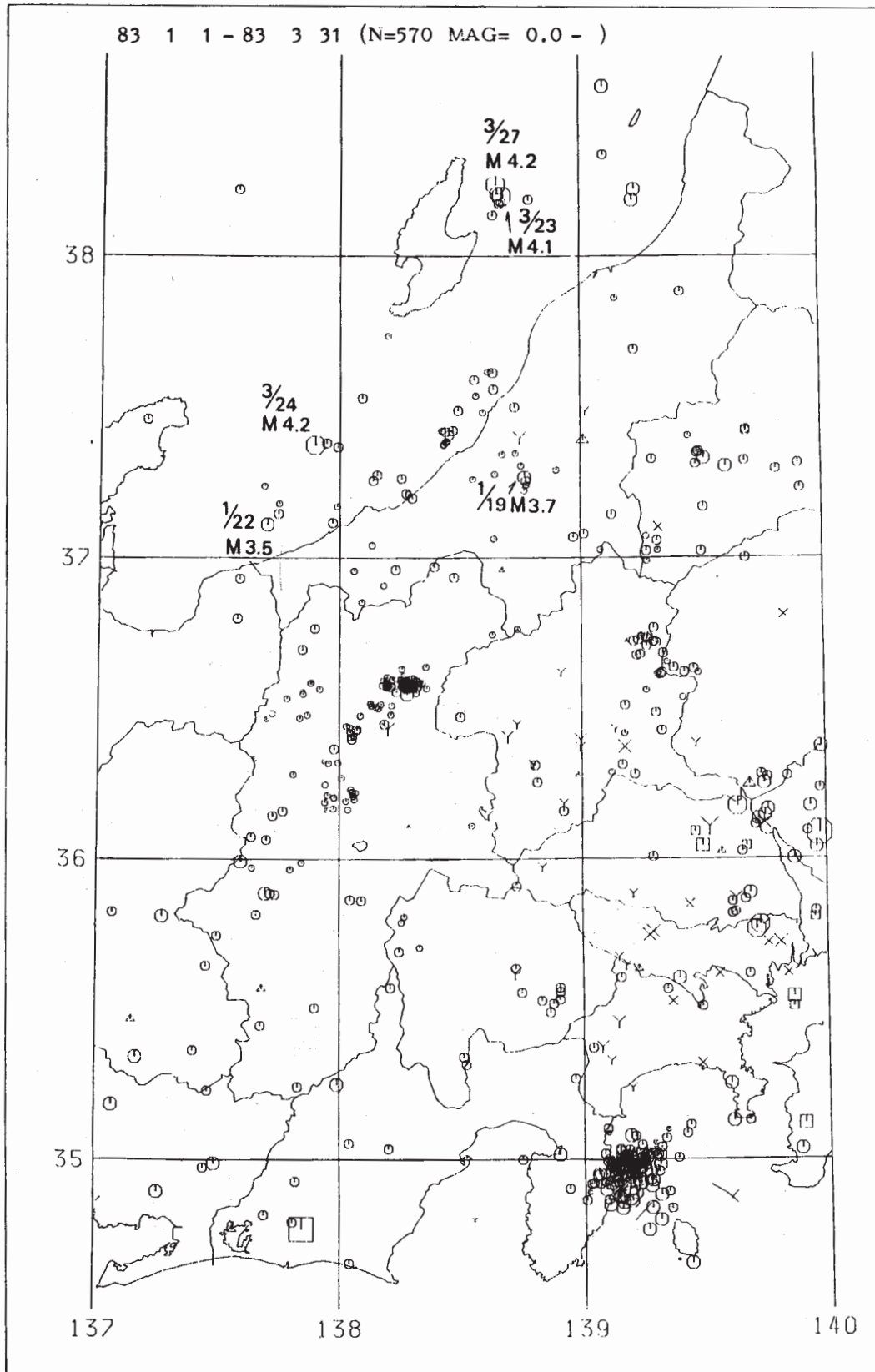
第3図は、1982年1年間の震央分布図である。この図の中で、山梨県北部(A)と諏訪湖北東方(B)に集中しているのは発生時刻から発破であると推定される。



DEPTH \ MAG	0	1	2	3	4	5
<30	•	•	◦	◦	◦	◦
30 ≤ <60	•	▲	▲	▲	▲	▲
60 ≤ <90	•	■	■	■	■	■
90 ≤	•	×	×	×	×	×

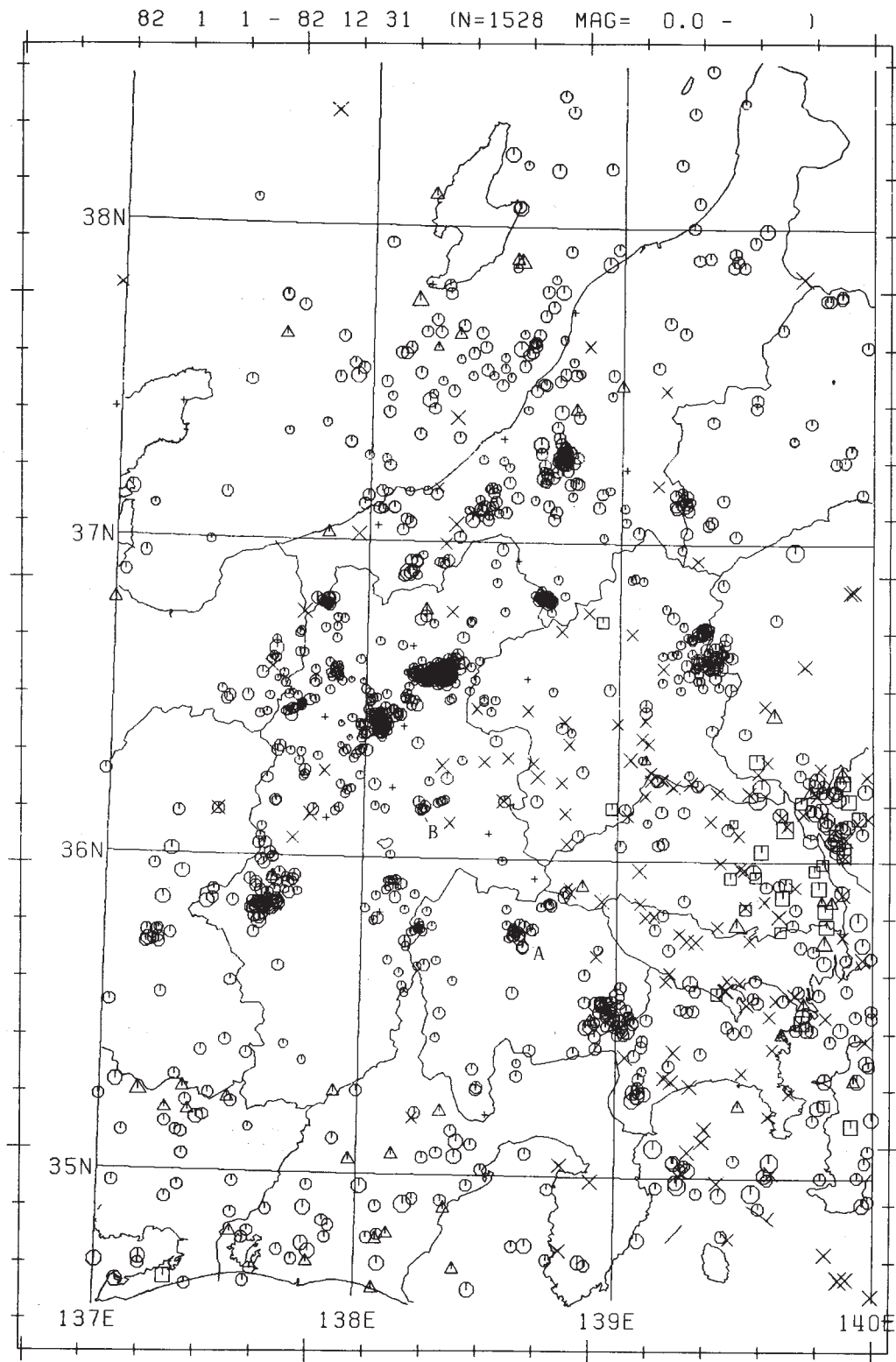
第1図 1982年10月～12月の震央分布図

Fig. 1 Distribution of epicenters in the Shin-etsu district, October - December, 1982.



第2図 1983年1月～3月の震央分布図（1983年分より深い地震の記号をX：90～120km，Y：120km以深と区別するようにした）

Fig. 2 Distribution of epicenters in the Shin-etsu district, January - March, 1983.



第3図 1982年の震央分布図

Fig. 3 Distribution of epicenters in the Shin-etsu district in 1982.